

授業科目名	基礎看護技術論		担当教員	◎休波 茂子、鵜沢 淳子	科目ナンバリング NF151
必修	開講年次：1年後期	単位：1単位	授業形態：講義15時間		

【授業概要】

看護学の学問体系において、その基盤となる専門領域が基礎看護学である。看護師は看護技術を用いて看護を実践していくことから、看護活動の前提となる看護技術をEBNの視点から考察する。さらに、広汎な看護の対象に提供する看護技術を、EBNの視点から探求することで、科学的思考やクリティカルシンキング等の基礎的思考能力を修得する。

【達成目標】

1. 看護技術の定義、展開過程、特殊性について説明できる。
2. 看護技術において必要な「観察」について説明できる。
3. 看護実践の前提となる技術について説明できる。
4. 看護技術の原則「安全」と「安楽」について説明できる。
5. 看護技術のエビデンスについて説明できる。
6. 看護技術における倫理的問題について説明できる。

【履修条件】

特になし

【授業計画】

- | | |
|--|---------|
| [01] 「技術」と「看護技術」 | (休波) |
| [02] 看護技術の展開過程、特殊性と独自性、看護の方法としての「看護技術」 | (休波) |
| [03] 看護技術において必要な「観察」 | (鵜沢) |
| [04] 看護実践の前提となる技術 | (休波) |
| [05] 看護技術の原則「安全」とは | (鵜沢) |
| [06] 看護技術における「安楽性」 | (鵜沢) |
| [07] 看護技術のエビデンス(グループワーク) | (休波・鵜沢) |
| [08] 看護技術における倫理的問題 | (休波) |

【教科書】

指定なし

【参考書】

- ・志田岐康子他編集(2017). ナーシング・グラフィカ 基礎看護学① 看護学概論 第6版, MC メディカ出版.
- ・川島みどり監修(2003). 実践看護技術学習支援テキスト基礎看護学, 日本看護協会出版 会.
- ・阿曾洋子他(2006). 実践へつなぐ看護技術教育, 医歯薬出版.
- ・川島みどり(2010). 看護技術の基礎理論, ライフサポート社.

【評価方法・評価基準】

筆記試験：80%、課題レポート20%

【講義のために必要な事前・事後学習】

事前学習：授業時に事前課題を提示するため必ず行って授業に臨む。(2時間)

事後学習：講義時に示された課題を行うこと。また講義資料をもとに学習内容の復習を行う。(2時間)

【教育目標(必須要素)との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅱ、根拠に基づいた看護実践能力関連する。

【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

試験や課題レポートについては評価し返却をする。

【備考】

この科目は基礎看護学「日常生活援助論」「治療援助論」「看護展開論Ⅱ」と関連が深く基礎となるため理解しておくこと。